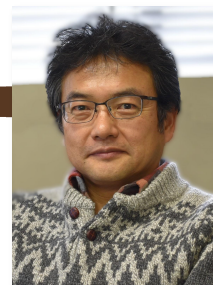


「土壌還元消毒」の基礎から実践、その応用まで

コーディネーター：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）

農業環境研究部門 化学物質リスク研究領域 上級研究員 小原 裕三



開催日等

令和7年(2025年) 参加費無料 先着40名程度(先着順)

11月11日[火]～11月12日[水]

場 所：農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター（茨城県つくば市観音台2-1-9）

対 象：生産団体、農業法人の研究者、行政部局、普及機関（農業を対象とした課題に取り組む研究者や技術者も含みます。）

園芸農業では、連作などに伴う土壌病害虫による被害が甚大で対策が求められています。土壌消毒の方法としては、土壌くん蒸剤が一般的に用いられていますが、適用が困難だったり、十分な効果が得られていない場合も散見され、リスク削減の観点から代替技術が望まれています。土壌中で微生物によって分解されやすい有機物を用いた「土壌還元消毒法」は、土壌くん蒸剤を補完・代替する技術の1つとして普及が進んできていますが、現状では、適切な処理方法が採られていないことによって必ずしも期待した効果が得られていない事例もあります。

本ワークショップでは、「土壌還元消毒法」の基本原則から実践、また、応用事例等について参加者に習得していただきます。参加者は、広く生産団体や農業法人の研究者、行政部局、普及機関等を対象としており、各地域や作物の種類による使用場面での活用などを幅広く議論し、効率的で適正な処理設計や技術の普及、相互交流を深めることを目的としています。

講義と実習の概要

【11月11日(火)】13:00～17:15

【講義】土壌還元消毒の概要と背景（農研機構農業環境研究部門 小原 裕三）

【講義】糸状菌、センチュウなどに由来する病害の発生生態と対策、評価法について（（公財）園芸植物育種研究所 門馬 法明）

【講義】青枯病等、土壌細菌に由来する病害の発生生態と対策、評価法について（農研機構農業環境研究部門 堀田 光生）

【講義】固体土壌還元消毒資材の紹介、実施事例や実践など（農研機構九州沖縄農業研究センター 川部 眞澄）

【講義】北海道のメロン栽培での低濃度エタノールによる土壌還元消毒法の導入・普及活動の紹介（北海道農政部 大平 誠）

【フリートーク】全体の質疑を含む（全講師）

【11月12日(水)】9:15～12:00

【講義】高知県芸西村でのトルコギキョウ栽培における

低濃度エタノールによる土壌還元消毒法の導入・普及活動の紹介（高知県安芸農業振興センター 楠瀬 真央）

【技術紹介】「ソイルファイン®」を用いた効果的な土壌還元消毒法と事例紹介（片倉コープアグリ株式会社 池頭 靖夫）

【技術紹介】「かんげん丸®」を用いた効果的な土壌還元消毒法と事例紹介（イノチオホールディングス株式会社 宮地 めぐみ）

【技術紹介】「エコロジアル®」を用いた効果的な土壌還元消毒法と事例紹介（日本アルコール産業株式会社 布施 智恵子）

【事例演習】土壌還元消毒法の処理設計と処理方法（全講師）

【フリートーク】全体の質疑を含む（全講師）



詳細・お申込はこちら

<https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>

筑波産学連携支援センターのホームページ（上記URLまたは左QRコード）より、お申し込みください。

※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書と申込アンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口から koryu7129@maff.go.jp まで送信していただきますようお願いいたします。

申込締切日：令和7年10月13日（月）まで（※ただし先着順のため、定員に達し次第終了とさせていただきます。）

（その他）受講される方には、土壌消毒を必要としている作物、圃場や栽培条件などの情報をお伺いいたします。

受講決定後に回答様式をお送りしますので、ご対応頂きますようお願い致します。

